

【キーワード】

〔施設種別〕 高齢者施設 障がい者施設 子ども施設 住宅 ()
 〔運営主体〕 市区町村 法人 NPO 個人 (補助金) 内閣府 国土交通省 厚生労働省 ()
 〔建物形式〕 1棟単体型 複数棟集合型 団地型 (建物状況) 新築 増築 改修 一部改修 既存
 〔対象者〕 高齢者 障がい者 子ども ファミリー 多世代



写真1. 施設入口

子どもたちが「やってみたい」「もっとやりたい」と意欲を高め、子どもが主体のとことんあそび込むあそび環境を大切にした保育園。ぐるりとまわられるコースが中心の遊環構造により、子どもたちの主体的な生活や遊びが展開できるような環境づくりを大切にしている。また、子どもの「やりたい」と大人の「やってほしい」をバランスよく保育の中に取り入れている。

■見学者：林萌絵，米ヶ田里奈

■見学日：こども環境学会 2023 年大会

7月7日（金）エクスカッションにて

■施設概要

保育理念：一人ひとりが主人公，子ども主体のあそび環境

施設種別：認可保育所

所在地：沖縄県うるま市字上江州 455 番地

運営主体：社会福祉法人 勇翔福社会

設立年月：2016 年

設計者：環境デザイン研究所

本園は，保育事例や施設が書籍にて多数紹介されている。

規模 敷地面積：2803.13㎡

建築面積：608.85㎡

延床面積：985.03㎡(1階528.33㎡ 2階456.70㎡)

構造：鉄筋コンクリート造陸屋根 2階建

開園日：月～土（祝日，年末年始，台風等の非常時を除く）

開所時間：7:00～19:00（延長保育時間含む）

事業概要 ①延長保育：午後 6:00～7:00（土曜日は無し）

②障がい児保育

入所対象年齢：0歳～5歳

定員：130名

（0歳児ほし組：12名，1歳児つき組：18名，

2歳児たいよう組：18名，3歳児ひかり組：30名，

4歳児にじ組：30名，5歳児そら組：22名）

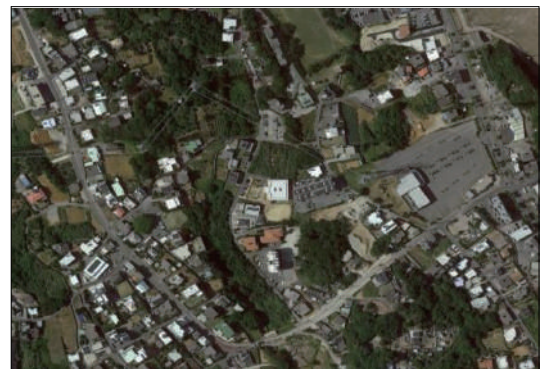


写真2. 周辺状況 (Google Maps から引用*)

沖縄自動車道 沖縄南 IC より車で約 20 分の場所に位置する。静かな自然環境の中に設立された保育園。



図1. ごきんじょ MAP (保育園 HP から引用*)

保育者が作成したご近所マップ。

参考文献

- 1) 社会福祉法人 勇翔福祉会 コスモストーリー保育園 HP < <https://www.cosmo-story.okinawa/> > 2023.09.08 参照
- 2) 施設見学 2023.07.07
- 3) パンフレット
- * Google Maps 2023.09.25 参照



写真3. あそび活性化装置としての大きなネット遊具
雨天時であっても屋内で活発な運動量の確保が可能。こどもたちが自由な発想で遊びを展開することを通して、心身共に健全な育ちを保証する環境になっている。

■運営概要

職員数：32名

[保育士（0歳児ほし組：4名，1歳児つき組：3名，2歳児たいよう組：3名，3歳児ひかり組：2名，4歳児にじ組：1名，5歳児そら組：1名，加配保育士（パート含む）5名），園長1名，副園長兼事務1名，主任保育士1名，看護師1名，厨房4名，用務員1名，保育補助4名]

■園内の特徴

ぐるとまわれるコースを中心に子どもの遊びを喚起する様々な要素で構成された園内。遊環構造により、子どもたちの主体的な生活や遊びを展開できるような環境づくりを行う。

■保育目標

肯定的に身近な人や環境に関わる中で、様々な発見を喜び・共鳴しながら活動を展開する子どもを育てる。

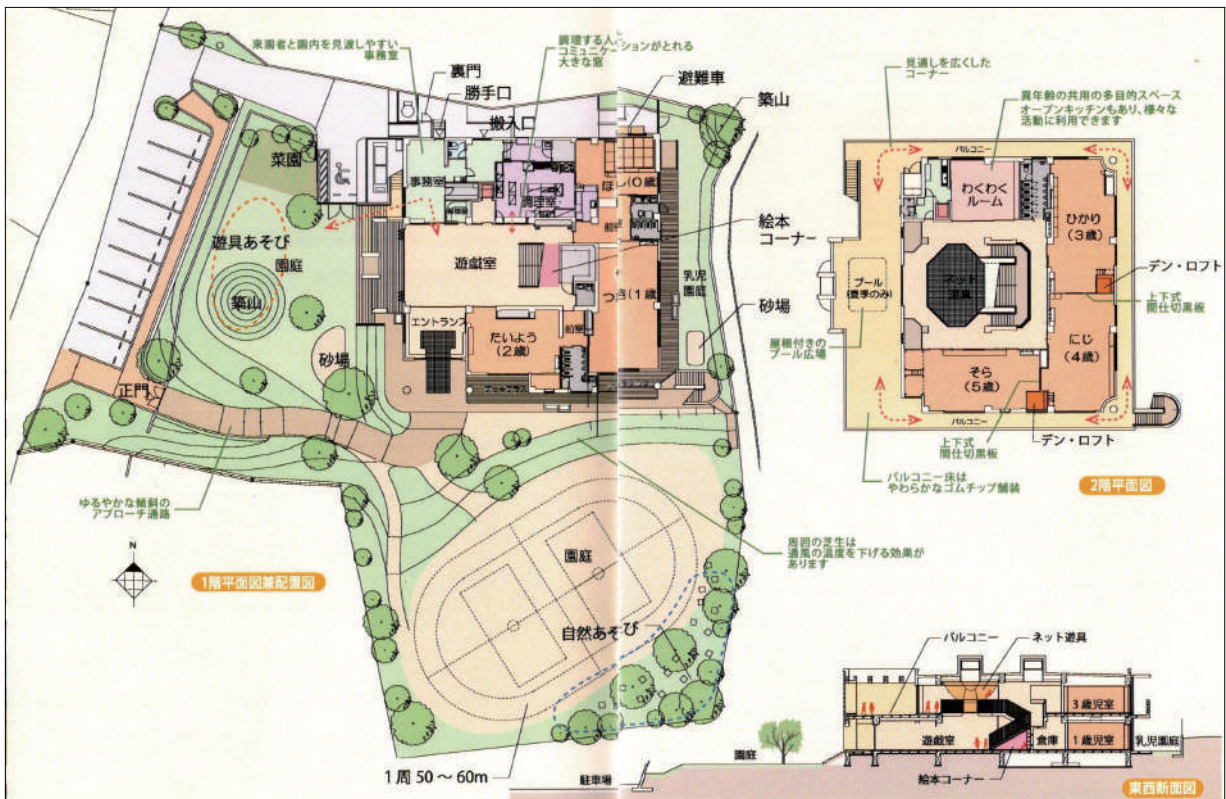


図2. 1階平面図兼配置図，2階平面図，東西断面図

子どもが成長しうる「リスク」＝わくわくドキドキ感を残しつつ、大事故に繋がるような危険「ハザード」を取り除くよう安全・衛生管理を徹底して行っている。

■年齢に合わせたキーワード

- ・0, 1, 2歳児：「安心」「探索」
- ・3, 4, 5歳児：「選べる・探究する」
- ・0～5歳児：「共鳴する」



写真4. 大階段の下に作られた共有の絵本コーナー
絵本も自分で選び、お気に入りを見つけてじっくり楽しむ。
大階段下を活用した落ち着いたスペースになっている。

■0～5歳児のキーワード「共鳴する」

保育室以外のスペースでもさまざまなあそびが展開。共有スペースで異年齢が関わることで、互いの文化が混ざり合い、伝承されていく。



写真5. エントランスホールの大階段
子どもたちの遊び場にもなる大階段では、定期的に保育者たちが小道具を用いながら読み聞かせを行う。



写真6. 2階にある一周するバルコニー
3・4・5歳児クラスのどこからでも行き来ができる。



写真7. コーナー保育
部屋から廊下の隅にまであそびがどんどん溢れ出ている。



写真8. 廊下に設置された台
設置された台の上で、保育室と異なった雰囲気を楽しむ園児。
おままごとをして遊ぶこともある。



写真9. 異年齢の共有の多目的スペース（わくわくルーム）
様々な活動に利用できるスペース。作ったものは壊さず残し、そこから新たなものが再度形成されていく面白さがある。



写真 10. 上下式間仕切り黒板

上げ下げ黒板の間仕切りを開放すると、異年齢児クラスの部屋と繋がる。

■真夏でも暑くならない芝生の園庭

園庭には、ガジュマル等が植えてあり木陰を作っている。また、広々とした園庭には保育者が創った山が3つあり、それを「お山の園庭」と園児たちも呼んでいる。



写真 12. 園庭のお山で遊ぶ園児

草むらにいる昆虫採集に夢中。

■食育体験

身近な環境での栽培・収穫・調理を通した食育体験で調理して食べる体験を通して、食への関心と感謝の気持ちを育てる。（執筆：林萌絵）



写真 11. 廊下より一段下がった（30cm程度）厨房

窓から調理室内を覗いて、今日の給食を楽しみにする。



写真 13. 園庭の畑で野菜を育てる

園児たちが自ら率先して野菜に水をやる。



写真 14. 保育者が創った遊具

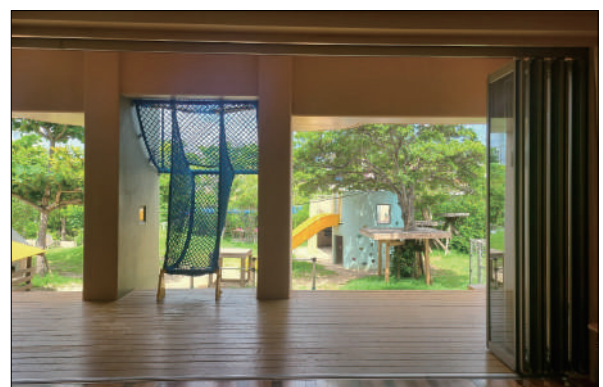


写真 15. 室内から見た園庭

開放的な空間が子どものあそびを活発にする。